



FRANKLIN  
TEMPLETON

## LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

2022年12月14日より、ファンド名称を「フランクリン・templton・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)」に変更します。

### 運用報告書(全体版)

第162期	決算日	2022年4月13日
第163期	決算日	2022年5月13日
第164期	決算日	2022年6月13日
第165期	決算日	2022年7月13日
第166期	決算日	2022年8月15日
第167期	決算日	2022年9月13日

#### ー 受益者のみなさまへ ー

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)」は、2022年9月13日に第167期の決算を行いましたので、第162期、第163期、第164期、第165期、第166期、第167期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## フランクリン・templton・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・templton・ジャパン株式会社(金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日(原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：  
フランクリン・templton・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
138期(2020年4月13日)	3,235	25	△ 0.2	97.5	—	34,914	
139期(2020年5月13日)	2,785	15	△13.4	97.5	—	29,885	
140期(2020年6月15日)	3,272	15	18.0	96.7	—	34,627	
141期(2020年7月13日)	3,087	15	△ 5.2	99.2	—	32,111	
142期(2020年8月13日)	3,012	15	△ 1.9	98.7	—	30,834	
143期(2020年9月14日)	3,043	15	1.5	97.9	—	30,671	
144期(2020年10月13日)	2,874	15	△ 5.1	97.8	—	28,780	
145期(2020年11月13日)	2,882	15	0.8	97.2	—	28,409	
146期(2020年12月14日)	3,102	15	8.2	96.9	—	29,975	
147期(2021年1月13日)	2,913	15	△ 5.6	99.4	—	27,529	
148期(2021年2月15日)	2,905	15	0.2	98.5	—	26,638	
149期(2021年3月15日)	2,872	15	△ 0.6	98.3	—	26,030	
150期(2021年4月13日)	2,766	15	△ 3.2	98.1	—	24,753	
151期(2021年5月13日)	2,979	15	8.2	97.5	—	26,341	
152期(2021年6月14日)	3,086	15	4.1	97.0	—	26,964	
153期(2021年7月13日)	3,053	15	△ 0.6	99.3	—	26,274	
154期(2021年8月13日)	2,974	15	△ 2.1	98.8	—	25,273	
155期(2021年9月13日)	2,933	15	△ 0.9	98.2	—	24,542	
156期(2021年10月13日)	2,867	15	△ 1.7	98.0	—	23,754	
157期(2021年11月15日)	2,867	15	0.5	97.0	—	23,096	
158期(2021年12月13日)	2,786	15	△ 2.3	96.9	—	21,878	
159期(2022年1月13日)	2,852	15	2.9	99.2	—	21,838	
160期(2022年2月14日)	3,020	15	6.4	99.3	—	22,727	
161期(2022年3月14日)	3,177	15	5.7	98.5	—	23,687	
162期(2022年4月13日)	3,699	15	16.9	97.5	—	26,921	
163期(2022年5月13日)	3,465	15	△ 5.9	97.7	—	24,344	
164期(2022年6月13日)	3,753	15	8.7	96.3	—	25,442	
165期(2022年7月13日)	3,504	15	△ 6.2	99.4	—	23,293	
166期(2022年8月15日)	3,670	15	5.2	98.9	—	24,040	
167期(2022年9月13日)	3,937	15	7.7	98.1	—	24,924	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第162期	(期 首) 2022年 3月14日	3,177	—	—	98.5	—	—
	3月末	3,539	11.4	—	98.8	—	—
	(期 末) 2022年 4月13日	3,714	16.9	—	97.5	—	—
第163期	(期 首) 2022年 4月13日	3,699	—	—	97.5	—	—
	4月末	3,677	△ 0.6	—	98.0	—	—
	(期 末) 2022年 5月13日	3,480	△ 5.9	—	97.7	—	—
第164期	(期 首) 2022年 5月13日	3,465	—	—	97.7	—	—
	5月末	3,742	8.0	—	96.7	—	—
	(期 末) 2022年 6月13日	3,768	8.7	—	96.3	—	—
第165期	(期 首) 2022年 6月13日	3,753	—	—	96.3	—	—
	6月末	3,667	△ 2.3	—	96.8	—	—
	(期 末) 2022年 7月13日	3,519	△ 6.2	—	99.4	—	—
第166期	(期 首) 2022年 7月13日	3,504	—	—	99.4	—	—
	7月末	3,629	3.6	—	99.3	—	—
	(期 末) 2022年 8月15日	3,685	5.2	—	98.9	—	—
第167期	(期 首) 2022年 8月15日	3,670	—	—	98.9	—	—
	8月末	3,808	3.8	—	97.7	—	—
	(期 末) 2022年 9月13日	3,952	7.7	—	98.1	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

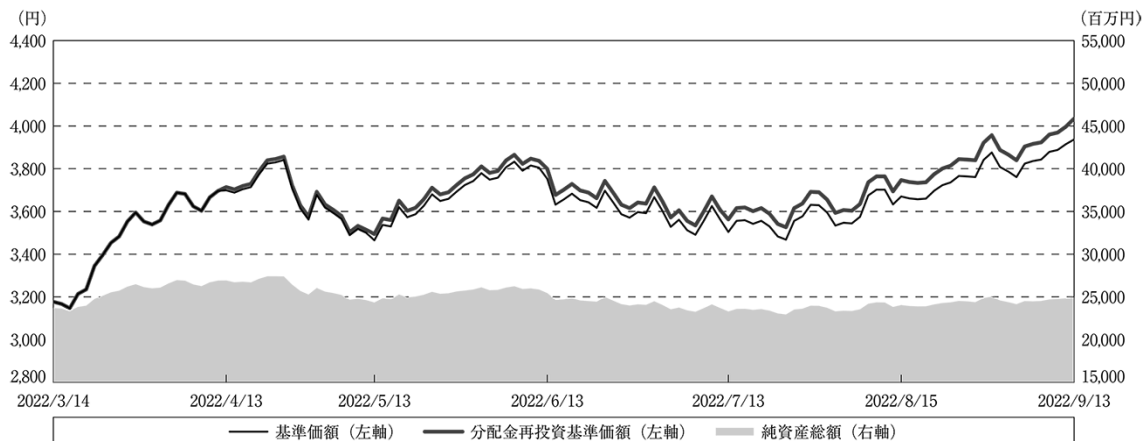
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2022年3月15日～2022年9月13日)



第162期首：3,177円

第167期末：3,937円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：27.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2022年3月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス(分配金再投資ベース)となりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから公社債利金を手堅く確保し、債券利回りがやや低下(価格は上昇)する中、公社債損益はプラスとなりました。ブラジルリアル高・円安を反映して、為替損益もプラスとなりました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが低下しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行（BCB）のネット総裁が、一連の利上げサイクルは2022年5月の金融政策決定会合（COPOM）で終了となる可能性が高いことを示唆したことなどを受け、利回りは大きく低下しました。しかしその後、米国の金融政策の積極化の観測や5月のCOPOMで一段の利上げの可能性が示唆されたことなどから、利回りは上昇（価格は下落）しました。

期の半ばは、インフレの加速や欧米における金融引き締め積極化の流れを受け、利回りが上昇傾向で推移する中、BCBは利上げを継続しました。10月の大統領選挙を控え、財政悪化が懸念されたことも、利回りの上昇につながりました。

期の後半は、インフレ指標に一定の落ち着きが見られる中、BCBは引き続き政策金利を引き上げましたが、市場は利上げサイクル終了後の将来的な利下げを織り込み始めたため、利回りは低下しました。

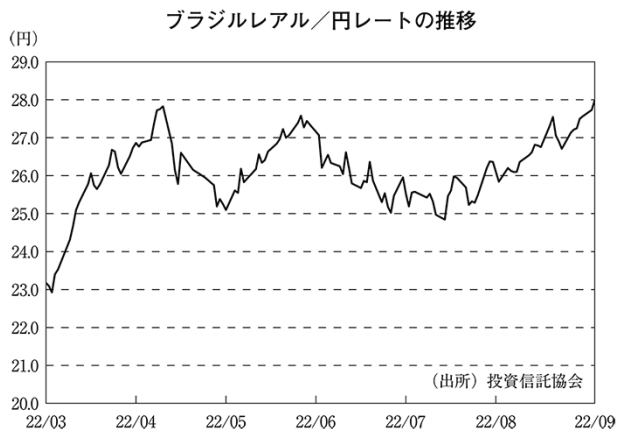


当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、BCBが利上げを継続し、金利先高観がみられる中、リアルは堅調となりました。しかしその後、米国の積極的な金融引き締め姿勢や中国の景気減速に焦点が当たり、リアルは弱含む局面も見られました。

期の半ばは、米国の金利先高観が一服したことや、中国のロックダウン（都市封鎖）解除への期待などから、リアルは再び堅調に推移しました。しかしその後、再び米国の金利先高観測が台頭し、欧州中央銀行（ECB）による積極的な金融政策も意識されたことから世界的な金融引き締めの流れがリスク回避姿勢につながり、リアルは下落しました。

期の後半は、欧米の金融引き締め姿勢が意識されつつも、BCBによる金融引き締めが継続し、リアルは堅調に推移しました。インフレ指標の落ち着きもリアルを下支えしました。また、米ドル・円で一段と米ドル高・円安が進んだことも、リアル高・円安につながりました。



当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

## 分配金

(2022年3月15日～2022年9月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2022年3月15日～ 2022年4月13日	2022年4月14日～ 2022年5月13日	2022年5月14日～ 2022年6月13日	2022年6月14日～ 2022年7月13日	2022年7月14日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年9月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.404%	15 0.431%	15 0.398%	15 0.426%	15 0.407%	15 0.380%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	236	245	262	275	297	316

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年3月15日～2022年9月13日)

項 目	第162期～第167期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 31	% 0.855	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(15)	(0.414)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(15)	(0.414)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.093	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	(0.085)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 等 費 用 )	( 0 )	(0.006)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	34	0.948	
作成期間の平均基準価額は、3,677円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

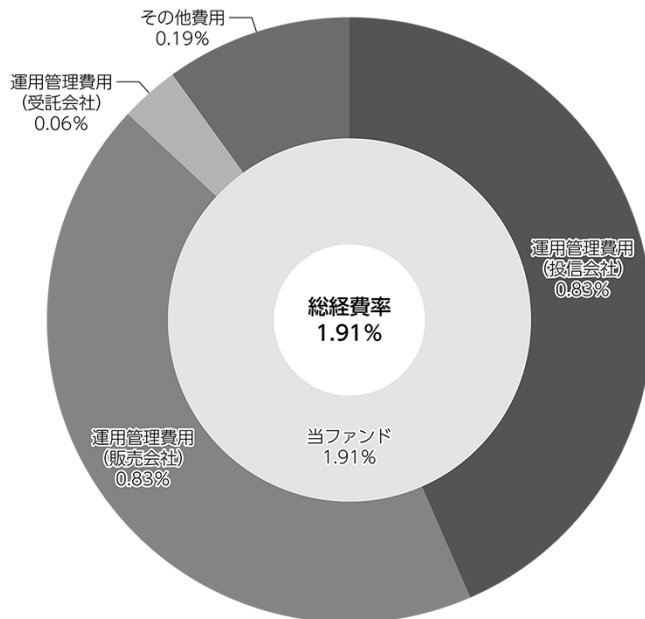
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2022年3月15日～2022年9月13日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第162期～第167期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 353,408	千円 651,233	千口 3,013,474	千円 5,595,634

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年3月15日～2022年9月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2022年3月15日～2022年9月13日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年3月15日～2022年9月13日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2022年9月13日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	第161期末	第167期末	
	口数	口数	評価額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 14,849,955	千口 12,189,890	千円 25,052,662

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年9月13日現在)

項 目	第167期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ブラジル国債マザーファンド	25,052,662	99.4
コール・ローン等、その他	148,731	0.6
投資信託財産総額	25,201,393	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産 (28,877,417千円) の投資信託財産総額 (29,154,248千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月13日における邦貨換算レートは1米ドル=142.54円、1ブラジルリアル=27.9828円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
	2022年4月13日現在	2022年5月13日現在	2022年6月13日現在	2022年7月13日現在	2022年8月15日現在	2022年9月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	27,159,523,290	24,642,500,876	25,808,049,285	23,467,995,101	24,279,689,100	25,201,393,930
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	27,066,642,630	24,486,392,476	25,581,492,145	23,427,121,589	24,176,047,619	25,052,662,061
未収入金	92,880,660	156,108,400	226,557,140	40,873,512	103,641,481	148,731,869
(B) 負債	238,165,985	298,464,656	365,443,032	174,788,049	238,712,390	277,116,036
未払収益分配金	109,164,884	105,382,493	101,702,388	99,720,498	98,263,949	94,958,042
未払解約金	92,880,660	156,108,400	226,557,140	40,873,512	103,641,481	148,731,869
未払信託報酬	35,746,133	36,640,597	36,863,002	33,908,504	36,427,960	33,046,488
その他未払費用	374,308	333,166	320,502	285,535	379,000	379,637
(C) 純資産総額(A-B)	26,921,357,305	24,344,036,220	25,442,606,253	23,293,207,052	24,040,976,710	24,924,277,894
元本	72,776,589,813	70,254,995,399	67,801,592,493	66,480,332,234	65,509,299,353	63,305,361,571
次期繰越損益金	△45,855,232,508	△45,910,959,179	△42,358,986,240	△43,187,125,182	△41,468,322,643	△38,381,083,677
(D) 受益権総口数	72,776,589,813口	70,254,995,399口	67,801,592,493口	66,480,332,234口	65,509,299,353口	63,305,361,571口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,699円	3,465円	3,753円	3,504円	3,670円	3,937円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 74,549,475,468円  
 当作成期中追加設定元本額 1,803,916,178円  
 当作成期中一部解約元本額 13,048,030,075円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は38,381,083,677円であります。

## ○損益の状況

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2022年3月15日～ 2022年4月13日	2022年4月14日～ 2022年5月13日	2022年5月14日～ 2022年6月13日	2022年6月14日～ 2022年7月13日	2022年7月14日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年9月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	3,930,916,013	△ 1,502,016,113	2,084,882,666	△ 1,515,418,229	1,222,881,953	1,819,927,462
売買益	3,995,943,084	20,638,455	2,147,056,338	22,632,315	1,235,307,494	1,853,351,242
売買損	△ 65,027,071	△ 1,522,654,568	△ 62,173,672	△ 1,538,050,544	△ 12,425,541	△ 33,423,780
(B) 信託報酬等	△ 36,120,441	△ 36,973,763	△ 37,183,504	△ 34,194,039	△ 36,806,960	△ 33,426,125
(C) 当期損益金(A+B)	3,894,795,572	△ 1,538,989,876	2,047,699,162	△ 1,549,612,268	1,186,074,993	1,786,501,337
(D) 前期繰越損益金	△17,119,714,952	△12,787,086,269	△13,880,580,956	△11,622,035,331	△13,056,277,029	△11,545,445,303
(E) 追加信託差損益金	△32,521,148,244	△31,479,500,541	△30,424,402,058	△29,915,757,085	△29,499,856,658	△28,527,181,669
(配当等相当額)	( 1,446,180,038)	( 1,398,392,692)	( 1,351,300,512)	( 1,328,231,690)	( 1,310,413,934)	( 1,267,599,331)
(売買損益相当額)	(△33,967,328,282)	(△32,877,893,233)	(△31,775,702,570)	(△31,243,988,775)	(△30,810,270,592)	(△29,794,781,000)
(F) 計(C+D+E)	△45,746,067,624	△45,805,576,686	△42,257,283,852	△43,087,404,684	△41,370,058,694	△38,286,125,635
(G) 収益分配金	△ 109,164,884	△ 105,382,493	△ 101,702,388	△ 99,720,498	△ 98,263,949	△ 94,958,042
次期繰越損益金(F+G)	△45,855,232,508	△45,910,959,179	△42,358,986,240	△43,187,125,182	△41,468,322,643	△38,381,083,677
追加信託差損益金	△32,521,148,244	△31,479,500,541	△30,424,402,058	△29,915,757,085	△29,499,856,658	△28,527,181,669
(配当等相当額)	( 1,446,793,640)	( 1,399,098,551)	( 1,351,714,761)	( 1,329,022,157)	( 1,310,611,824)	( 1,267,808,633)
(売買損益相当額)	(△33,967,941,884)	(△32,878,599,092)	(△31,776,116,819)	(△31,244,779,242)	(△30,810,468,482)	(△29,794,990,302)
分配準備積立金	271,273,601	326,867,986	426,702,622	502,163,269	636,166,252	736,396,409
繰越損益金	△13,605,357,865	△14,758,326,624	△12,361,286,804	△13,773,531,366	△12,604,632,237	△10,590,298,417

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	213,385,164	172,105,211	214,014,230	186,355,844	240,405,568	217,673,244
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	1,446,793,640	1,399,098,551	1,351,714,761	1,329,022,157	1,310,611,824	1,267,808,633
(D) 分配準備積立金	167,053,321	260,145,268	314,390,780	415,527,923	494,024,633	613,681,207
分配対象収益額(A+B+C+D)	1,827,232,125	1,831,349,030	1,880,119,771	1,930,905,924	2,045,042,025	2,099,163,084
(1万円当たり収益分配対象額)	( 251)	( 260)	( 277)	( 290)	( 312)	( 331)
収 益 分 配 金	109,164,884	105,382,493	101,702,388	99,720,498	98,263,949	94,958,042
(1万円当たり収益分配金)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)

## ○分配金のお知らせ

	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
1万口当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### ◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

### ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

### ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## &lt;LM・ブラジル国債マザーファンド&gt;

下記は、LM・ブラジル国債マザーファンド全体(14,008,472千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第167期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 1,045,050	千ブラジルレアル 1,004,044	千円 28,095,971	% 97.6	% 97.6	% —	% 0.0	% 97.6
合 計	1,045,050	1,004,044	28,095,971	97.6	97.6	—	0.0	97.6

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		第167期末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
	国債証券						
	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	511,000	475,987	13,319,450	2023/4/1	
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	533,700	527,719	14,767,072	2023/1/1	
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	350	337	9,448	2025/1/1	
合 計					28,095,971		

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

# LM・ブラジル国債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第14期 決算日 2022年3月14日

(計算期間：2021年3月16日～2022年3月14日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第14期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	騰落率			
10期(2018年3月13日)	17,757	1.6	96.9	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432	△1.8	97.0	—	51,018
12期(2020年3月13日)	14,082	△19.2	97.3	—	46,112
13期(2021年3月15日)	13,415	△4.7	97.7	—	32,984
14期(2022年3月14日)	16,047	19.6	97.9	—	28,484

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2021年3月15日	13,415	—	97.7	—
3月末	13,043	△2.8	97.9	—
4月末	13,996	4.3	98.0	—
5月末	14,421	7.5	97.3	—
6月末	15,322	14.2	97.1	—
7月末	14,790	10.2	99.1	—
8月末	14,488	8.0	98.7	—
9月末	14,092	5.0	98.3	—
10月末	13,500	0.6	97.2	—
11月末	13,754	2.5	97.0	—
12月末	13,783	2.7	97.0	—
2022年1月末	14,738	9.9	99.3	—
2月末	15,524	15.7	98.1	—
(期末) 2022年3月14日	16,047	19.6	97.9	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2021年3月16日～2022年3月14日)



### ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。ブラジルリアル高・円安を反映して、為替損益が大幅なプラスとなったことが主に影響しました。また、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。一方、公社債損益については、マイナスとなりました。



当期のブラジル債券市場では、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行（BCB）が、インフレリスクへの対応のために金融政策委員会（COPOM）で政策金利の引き上げを行うとともに、継続的な利上げの姿勢を示したことなどを受けて、利回りは上昇しました。概ね堅調な経済指標も利回りを下支えしました。

期の半ばは、インフレの高止まりを受け、引き続き利上げが継続され、さらなる利上げが意識されたことや、財政規律に対する懸念などから利回りの上昇に拍車がかかりました。

期の後半は、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の感染拡大や景気回復に対する懸念から利回りは低下（価格は上昇）する局面も見られましたが、インフレの高止まりを背景にBCBが利上げ継続の姿勢を見せたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融政策変更前倒しの見通しにより米国国債利回りが上昇したことなどから、ブラジル国債利回りも下支えされました。ウクライナ情勢の悪化に伴い、世界的にリスク回避の動きが強まったことなどから利回りは低下する局面も見られましたが、資源価格の急騰によりさらなるインフレが懸念されたことなどから、利回りは上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、新型コロナウイルス感染拡大がリアル相場の重しとなりましたが、BCBによる政策金利の引き上げ決定や追加利上げ方針を受けて、債券利回りが上昇したことなどが、リアル高につながりました。しかし、鉄鉱石をはじめとする資源価格の下落や世界的な新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念などからリアルは下落する局面も見られました。

期の半ばは、引き続き利上げ観測は根強いものの、財政悪化に対する懸念や米国のテーパリング（量的緩和の縮小）観測を背景に米ドル買い



が優勢となったことなどにより、リアルは軟調な地合いが続きました。

期の後半は、オミクロン株に対する懸念による投資家のリスク回避姿勢や米国のテーパリングの加速が意識されたことなどによりリアルは軟調に推移しましたが、オミクロン株に対する過度な懸念が和らいだことや、BCBの利上げ継続姿勢が改めて認識されたことなどにより、リアルは上昇基調となりました。ウクライナ情勢の悪化に伴い資源価格が上昇し、さらなる利上げが意識されたことや、米ドル・円相場で米ドル高・円安が進行したことなどから、リアルは対円で堅調に推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

## ○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2022年3月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 21 (21)	% 0.149 (0.149)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	21	0.149	
期中の平均基準価額は、14,287円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2022年3月14日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 658,749	千ブラジルリアル 910,416 (123,300)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2022年3月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年3月14日現在)

### 外国公社債

#### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,234,950	1,203,064	27,877,162	97.9	97.9	—	0.0	97.8
合 計	1,234,950	1,203,064	27,877,162	97.9	97.9	—	0.0	97.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

#### (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券					
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	110,000	109,334	2,533,469	2022/4/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	448,000	432,611	10,024,378	2022/7/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	676,600	660,788	15,311,664	2023/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	350	330	7,650	2025/1/1
合 計					27,877,162	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年3月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	27,877,162	97.6
コール・ローン等、その他	695,066	2.4
投資信託財産総額	28,572,228	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(28,185,692千円)の投資信託財産総額(28,572,228千円)に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月14日における邦貨換算レートは1米ドル=117.61円、1ブラジルレアル=23.1718円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2021年3月16日~2022年3月14日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年3月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	28,572,228,624
コール・ローン等	401,402,898
公社債(評価額)	27,877,162,152
未収利息	293,663,574
(B) 負債	87,268,718
未払解約金	87,267,902
未払利息	816
(C) 純資産総額(A-B)	28,484,959,906
元本	17,750,406,139
次期繰越損益金	10,734,553,767
(D) 受益権総口数	17,750,406,139口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,047円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	24,587,299,519円
期中追加設定元本額	710,370,900円
期中一部解約元本額	7,547,264,280円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	14,849,955,899円
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	2,900,450,240円

○損益の状況 (2021年3月16日～2022年3月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,525,820,510
受取利息	2,525,990,967
支払利息	△ 170,457
(B) 有価証券売買損益	2,712,813,588
売買益	4,886,488,731
売買損	△ 2,173,675,143
(C) 保管費用等	△ 44,960,933
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,193,673,165
(E) 前期繰越損益金	8,396,782,187
(F) 追加信託差損益金	297,834,828
(G) 解約差損益金	△ 3,153,736,413
(H) 計(D+E+F+G)	10,734,553,767
次期繰越損益金(H)	10,734,553,767

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

<合併について>

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・templton・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更致しました。

<主な約款変更に関するお知らせ>

信託約款中の委託者名を「レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)